

平成 17 年度第 3 回北海道ブロック協議会  
第 3 回北海道代協常任理事会

議 事 録

平成 17 年 10 月 20 日(木)pm1:00~5:00

於： 北海道厚生年金会館 黎明の間

出席者

本部常任理事	高梨重勝	函館	常任理事	羽田武史	帯広	企画環境	林 昌宏	旭川
会長	向出明彦	函館	常任理事	富田明久	苫小牧	組織	多和康司	千歳
副会長	長谷部幹夫	旭川	常任理事代理	広瀬 禎	室蘭	地球環境	梅基伸男	札幌
副会長	山本 宏	釧路	常任理事	森 優	旭川	広報	坂本和正	札幌
副会長	阿部 實	札幌	常任理事代理	山吉行雄	釧路	年金基金	見上峰夫	札幌
副会長	石岡憲義	函館	常任理事	間 光夫	千歳	監事	富谷哲夫	札幌
副会長	長谷川勇	帯広	常任理事	鈴木雅裕	小樽	監事	羽山和広	帯広
専務理事	町野泰明	札幌	教育	壽時康二	札幌	事務局長	末原正二	札幌
常任理事代理	伊藤輝雄	函館	支部事業財務委員長	山崎善仁	札幌	事務局員	藤田和代	札幌

司 会 専務理事 町野泰明

1、開会の辞(石岡憲義)

2、会長挨拶(向出明彦)

我々代理店活動の取り巻く環境は厳しく、銀行窓口販売の全面解禁、郵政  
民営化法案可決の変化はわれわれの存在が将来に渡り、埋没していくので  
はないかとの危惧を感じる。今後の乗り切り方も議論していく必要がある。  
保険会社の不払い問題に対して憤りを感じるし、本部を通して厳重に抗議して  
いきたい。またコンプライアンスの遵守を心して代理店活動をしなければ  
ならない。

今回より本会議の議長は持ち回りとしたい。

3、日本代協常任理事挨拶(高梨重勝)

現在、日本代協が取り組んでいる事項のなかには次のようなものがある  
イ、単協法人化へ向けて「フォローアップ委員会」が積極的に活動している。  
ロ、保険会社の不払い問題に対しては、保険会社に再度抗議するとのこと。  
ハ、会員の増強を推進している。

#### 4、倫理綱領の朗読(富田明久)

#### 5、議 題

議長には長谷部幹夫氏(旭川、副会長)選任され承認された。

##### 、報告事項

##### 支部活動、及び予定報告(活動報告については会議資料を参照)

以下補足

- 札幌 青年部会の設立以来セミナーの開催、懇親会もされている。
- 室蘭 会費については来期までに値上げを考えている。
- 旭川 損協より着ぐるみを借りて地震保険キャンペーンの該当啓発をしようと思う  
セミナーについては今年度、「裁判員制度」をテーマに見学をかねて研修したい。
- 小樽 各社の代理店対策の情報交換をした。
- 苫小牧 各社の「医療保険」を比較研修  
予定として、「火災保険の比較」研修、新聞広告の掲載、消費者との懇談会等
- 千歳 支部活動ニュースを発行している
- 函館 「パークゴルフ大会」、等の親睦会を開催している。
- 釧路 新聞広告の掲載、
- 帯広 新聞広告の掲載、セミナー、ほか別紙参照
- 報告事項を北海道代協の記載フォームを作ってはどうか 事務局で検討する。  
支部ミーティングの候補と上がっている「小樽」「室蘭」は日程を決めてほしい

##### 委員会報告

法制委員会(羽田武史)、会議資料参照

室蘭、小樽各支部より委員を選出してほしい。

人材育成研修会実行委員会(長谷部幹夫)

会議資料参照

##### 日本代協理事会報告(向出明彦)

公開セミナーについては今年度も開催してほしい。

後日事務局へ報告書が届けられるので、その資料を参照してほしい。

##### 日本代協委員会報告

組織委員会(多和康司)

9/9に本部第2回組織委員会が開かれた。当代協の会員推移は会議資料を参照

「代理店賠償責任保険」の加入、「保険大学の受講」等をとおして代協をアピールしてほしい。

「地震保険」の普及について、10月24日に全国一斉に街頭キャンペーンを予定している。またその成果を検証するために今年度末までに各単協においてモニターを選び毎月ごとの報告の協力をしてもらおう。

企画環境委員会(林 昌宏)

「保険代理士国家資格昇給にかかわる損保協会との打ち合わせ」会議資料参照

「消費者団体との懇談会、実施状況」会議資料参照

教育委員会(壽時康二)

「第8期保険大学受講者名簿及び推移表」会議資料参照

大学の運営に関しては、受講者の減少、更新講習の時期、会場ともかんがみて内容を変えていく。

フォローアップ委員会(高梨重勝)

単協法人化の問題は今後修正していく。会議資料参照

地球環境委員会(梅基伸男)

グリーン基金(清掃活動)のみ報告あり

国民年金基金推進委員会(見上峰夫)

9月24日本部会議がありパンフレットがリニューアルされたとのこと。

今後の年金基金の存続の観点から、会員の勧誘(今まで19会員が加入)を積極的に働きかけてもらいたい。

金利的には1.75パーセントで運用されている。

、審議事項

会員増強キャンペーンの件(山本 宏)

今年度末には500店の会員を目標としたいので協力を願いたい。

これからの入会員の会費に付いては、各支部の裁量にて徴収してもらいたい。

今後はキャンペーン期間とし、その成果に対して、表彰も考えている。

支部目標

札幌	10	小樽	3	函館	5
室蘭	3	苫小牧	3	釧路	5
旭川	5	千歳	3	帯広	5

次回会議に中間報告

退会者の要因を検討し、会員増強の対策としたらどうか

### **タオルキャンペーンの件(石岡憲義)**

全支部が参加し、期間、実施要領は各支部に任せる。

函館ではタオルを要望する施設の募集を新聞広告に載せる。それにより代協の存在感をアピールする。

### **高校生の交通事故講座(出前講師)の開設について(長谷川勇、会議資料参照)**

北海道代協統一のマニュアルを作ってはどうか

ホームページに載せる。

### **新年交例会の件(阿部 實)**

「北海道代協 札幌支部」の案内にて開催する。

### **その他**

政治連盟の会費(会議資料参照)については累積の会費も含めて各支部は納入してほしい。

公開講座は日程の都合上来年度の開催としたい。

ホームページのコンテンツの充実を図ってほしい。

ドライブレコーダーの説明

## **6、閉会の辞(阿部 實)**